

令和7年度KDBを活用した分析力向上支援業務委託

公募型プロポーザル評価基準

評価項目	評価事項	配点	基本点数	調整係数						
		A×B	A	B						
1 人員体制や実績等の事業者適格性【20点】	(1) 実施体制 【様式9】 ・ 必要な知識・実績を有する者が本業務に充てられているか(配置人員の経歴)。 ・ 本業務に適したチーム編成・人員配置がなされているか。	10点	5点	2.0						
	(2) 業務実績 【様式3】 本業務に活かせるような十分な実績があるか。 <table border="1"><tr><td>設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上</td><td>5点</td></tr><tr><td>設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が1件 または 設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上</td><td>4点</td></tr><tr><td>設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が1件</td><td>3点</td></tr></table>	設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上	5点	設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が1件 または 設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上	4点	設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が1件	3点	5点	5点	1.0
	設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上	5点								
設計金額の7割(49,000千円)以上の金額の同分野の業務の受注実績が1件 または 設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が2件以上	4点									
設計金額の7割(49,000千円)未満の金額の同分野の業務の受注実績が1件	3点									
(3) 情報管理体制(個人情報等) 【様式10】 ・ 情報管理上の効果的な対策(運用上の仕組みやルール作り)の明記があるか。 ・ 情報管理に関する従業者への効果的な研修対策(計画)の明記があるか。	5点	5点	1.0							
2 業務目標達成のための基本事項【5点】	業務のスケジュール 【様式11】 期限までの段階的な成果の共有や最終的な成果物提出に向けての工程を想定・構築できているか。	5点	5点	1.0						
3 本業務に係る提案内容の納得性【65点】	(1) 市町村の実態調査の内容の提案 【様式8-1】 ・ 市町村のKDB活用実態やPDCAに関する支援ニーズを明確化するために、具体的に県内市町村のどのような状況を確認する予定か、その調査事項と事項別の調査意図が具体的に企画提案資料に示されているか。 ・ 市町村のKDB活用実態やPDCAに関する支援ニーズを明確化し、以降の業務に活用できるものになっているか。 ・ 現状を評価でき、かつ、業務終了後本業務の目的・目標達成状況を測ることができるものになっているか。 ・ 市町村に過度な負担とならないよう、以後の研修やマニュアル作成等の業務を見通して必要な事項を精査し、調査事項を設定しているか。	10点	5点	2.0						
	(2) 研修会の実施概要の提案 【様式8-2】 ・ KDBデータを使用した内容になっているか。また、その他のデータも使用する内容になる場合は、市町村が自庁で再現できるように配慮された内容になっているか。 ・ 市町村の被保険者規模や職種で分けた企画、または、目標とターゲットを明示した企画になっており、出欠やいずれの職員を参加させるかなどの判断がしやすく、その観点に関する認識のずれが生じないように、工夫されているか。 ・ 本県の市町村のニーズや令和6年度までの県の支援を踏まえた内容になっているか。 ・ データヘルス計画に基づくPDCAを効果的に運用できるスキル・ノウハウ習得に繋がる内容になっているか(研修の目的に適合しているか)。	20点	5点	4.0						

	(3) データヘルス(PDCA)のうち課題の整理から企画立案の試行【様式8-3】 ※「特定保健指導の実施率が低い」という課題が抽出されたと仮定し、試行すること ① 課題の整理 ・課題解決フレームワークや思考ツールを用いて、上記課題に関する仮説立案や要素分解により、課題の全容や深層課題を整理できている(課題となりうる事象・要素や関連事象・要素を、視野を広く持って検討できている)か。 ・それらの整理状況(要素の繋がりの意味等)が資料のみで分かるように視覚化・文章化されているか。 ② テーマとなる課題の設定 ・上記①で挙げた関連事象・要素から、課題の本質を見極め、解決すべき根本的な課題を適切に選択できている。現存する取組にあわせて課題設定するのではなく、課題設定から解決策を検討する姿勢をもっているか。 ③ 企画立案 ・保健事業の知識が少ない者でも理解できる内容となっているか。読みやすくデザインやレイアウトは工夫されているか。 ・同様の課題を抱える市町村職員が見た直後に、課題解決に向けてまず誰に何を確認するか、何が分かる資料を作成して誰に説明に行くべきかなど、具体的な行動が思い浮かぶ内容となっているか。 ・評価指標(ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム)が幅広く、かつ具体的に提示されているか。 ・データヘルス計画の長期的な目標である健康増進や医療費適正化に繋げる視点をもって企画し、それが可視化された状態になっているか。	25点	5点	5.0
	(4) その他の提案【様式8-4】 ・その他、本業務の目的を達成するための効果的な工夫がされており、それらの考えを目的達成に結びつけて文章化できているか。	10点	5点	2.0
4 経費の妥当性 【10点】	価格提案書 ・評価点数は、次の式により求める。 評価点数＝10点×(最も安価な見積額／当該提案者が提示する見積額) ただし、小数点以下は切り捨てる。	10点		
合計		100点		

◆採点方法

- 採点(基本点数)は5点満点とし、提案内容の評価結果により、次の5段階で行う。
(優れている:5点、やや優れている:4点、普通:3点、やや劣る:2点、劣る:1点)
なお、評価は絶対評価とする。
- 採点方法は、上記項目ごとに合計100点満点で評価を実施する。

◆候補者の選定方法

- 失格者を除いた者のうち、総合点が最も高い者で、かつ審査委員会の合議により認められた者を、契約の相手方の候補者として選定する。
- 最高点の者が複数の場合は、以下のとおり選定する。
 - ア 評価項目3(3)「データヘルス(PDCA)のうち課題の整理から企画立案の試行」の点数が高い者
 - イ アが同点の場合は、評価項目3(2)「研修会の実施概要の提案」の点数が高い者
 - ウ イが同点の場合は、評価項目3(1)「市町村の実態調査の内容の提案」の点数が高い者
 - エ アからウがいずれも同点の場合は、第一位候補者の選定を審査委員長に一任する。
- 上記2点にかかわらず、次に掲げる項目を満たす場合は候補者として選定しない。なお、提案者が1者の場合もこれを適用する。
 - ア 総合点が6割未満の場合
 - イ いずれかの評価項目で審査員の平均点が5割未満の場合